

第50回全国中学校ハンドボール大会

試合結果・戦評報告

競技日	令和3年8月25日(水)	試合番号	A12	回戦	準決勝
種別	中学生	会場	サイデン化学アリーナ		

Aチーム			Bチーム		
扇台(愛知)			氷見北部(富山)		
得点合計	小計		小計	得点合計	
23	14	前半	10	25	
	9	後半	15		
		第1延長前半			
		第1延長後半			
		第2延長前半			
		第2延長後半			
		7mTC			

戦評

決勝進出をかけた大一番。扇台のスローオフは扇台。最初に決めたのは扇台の3番。その後は扇台が得点をする、氷見北部も負けずと得点し、一進一退の攻防が繰り返される。特に、氷見北部の8番は4連続得点をしチームを引っ張っていく。20分ごろに氷見北部の7mTを扇台のGKがセーブするとそこから扇台が均衡を破り、連続得点をする。氷見北部も速いパス回しから果敢に攻めるも、扇台のGKの好セーブと守りに阻まれ思うように得点ができない。前半終了間際に扇台の4番がカットインで得点し4点差で前半を終える。

後半は氷見北部が速攻から9番が先制点を決める。両チームのDFが連携を見せ堅実に守り、GKが好セーブを連発し思うように得点が伸びない展開が続く。10分過ぎに氷見北部が連続でポストを使ったプレーにより、3連続得点をする。14分17秒に扇台がタイムアウトをとり再開すると扇台が連続得点をする。扇台が立て直しを図るかと思われたが、氷見北部も速攻を中心に連続得点をし、18分に同点に追いつく。その後、扇台が連続得点をし扇台も意地をみせる。22分に扇台が退場者が出ると、氷見北部が数的優位を生かして24分について逆転をする。終了直前には扇台のパスをカットし、氷見北部が逆速攻により得点をし、試合は終了した。お互い接戦した勝負で、準決勝にふさわしい試合であった。

記載者名

吉田 志信